

「秋彩角館」観光フィールドワーク報告会

12月6日、角館樺細工伝承館を会場に、秋田大学教育文化学部「秋彩角館」フィールドワーク報告会が行われました。

この報告会は、角館町観光協会(会長 田口宗良)の主催によるもので、同協会が秋の観光キャンペーン「秋彩角館」の一環として、秋田大学へはたらきかけ、角館の通年観光について検証していただいたものです。

社会学・経済学専攻の秋田大学生4班が、それぞれの観点で角館の観光を分析し、どうすれば観光のリピーターを増やすことができるか、地元への経済波及を上げることができるかなど、数値や先進事例などを提示しながら報告しました。審査は地元(仙北市)関係者を含む7名で行われ、「おいしいな〜☆☆角館☆☆」と題して発表した、佐藤加奈子さん他5名による班が選ばれ表彰されました。プレゼン内容にも優れており、ずばり、角館は“食”に弱いと問題点を指摘され、秋の特産物(西明寺栗等)を使った、菓子コンテスト等を角館で開催することを提言されました。

この度の報告会について、これら若い人の意見を観光政策の参考とすることや、報告会の継続を望む一般者の意見も聞かれました。



東京かくのだて会総会開催される

11月22日、第23回目となる東京かくのだて会の総会と懇親会が、東京の中野サンプラザを会場に開催されました。

当日は首都圏から会員約130人が参加し、市からは石黒市長はじめ佐藤市議会議員、佐々木副議長、柏谷商工会長、秋田おばこ農協鈴木角館担当理事らの皆さんが出席しました。また、東京田沢湖会からは高橋会長と佐藤幹事長、紙風船西木ふると会からは熊谷会長と桜田副会長も駆け付けました。

総会では富木脩平会長のあいさつの後、市の重点プロジェクト推進室から東京での定住相談会やふると納税制度等の説明があり、市長からはあいさつの中で市の近況報告があり、ふるとへの協力と支援をお願いしたところでした。

懇親会では恒例の飾山囃子が披露され、ふるとを思い出し多いに盛り上がりましたが、楽しい時間はあっという間に過ぎました。会員の皆さんは、来年の再会を誓い別れを惜しみながら解散しました。



仙北市交通安全母の会 子どもと親・高齢者交通安全意識啓発事業

仙北市交通安全母の会では、10～11月の2カ月間、子どもと親・高齢者を対象とした交通安全を呼びかける訪問事業を実施しました。

この事業は、子供と高齢者の安全を願う交通安全母の会の中核的な事業と位置づけ、全国や秋田県の交通安全母の会と一丸となり、県内では全市町村で一斉に実施されたものです。

事業の一環として、子どもたちには仙北市管内の全小学三年生を対象とし、各小学校を訪問して、紙芝居を上演して交通ルールを再確認してもらい、交通安全グッズをプレゼントしました。



また、高齢者世帯には、対象地区を決めて母の会の役員が一人ずつ手渡しで反射材等を配り、交通安全の大切さを呼びかけました。

これから積雪も増え、本格的な冬を迎えますが、市民の皆さまも交通事故防止にお一層ご協力願います。

